		担当課	花のまちづくりセンター
事業名	花のまちづくりセンターの運営		
予算費目	款  6 項  3 目  3 事業 花のまちづくりセンター管理費	,	
1 車業堀田			

1_	事業概要								
		□ 有(実施義務が	あるもの)	法令等の <sup>生</sup>	駒市花のまちづくりセ	ンター条例			
相	拠法令等		が義務ではないもの						
似	<b>炒以口可</b>	□ 無(法的根拠はないが、国、県等の指導、要請等に基づくもの)							
		□ 無(市独自の事							
		□ 有(国/県の基準(費用負担割合)どおり実施)							
国	/県の基準	□ 有(国/県の基準はあるが、市独自基準(費用負担割合)で実施)							
	, M	(国/県の基準	,)						
		(市独自基準)							
上	位計画等の	■有	* <b>* * *</b> * * * * * * * * * * * * * * *						
	置づけ		等の名称 生駒市緑	の基本計画					
		☑ 無 事業開始年度	19 左座 😾	東西[『東衆のハき	草、変遷等」にも記載	#1 アノゼキハ			
事	業期間		設定有り	表面・3 事業の沿年 年度まで	■ 終了年度の設置				
		● 未終   午及   □		十尺より	他市の状況(具体的				
栅	市の実施状		ているが事例は少	ない。	近畿圏内の他市に	おいては、市長の方気			
況			いが、多くの市で多			進している亀岡市なる の見直しを求められ			
		□ 全ての市が実施			営を指定管理者に委	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Cu.9山 6月在 连		
玉	、県、民間での	<u>=</u> 無し							
	似事業の有無	■ 有り ( ■ 国	■県□民	間 )					
			ることによって何をめる	- / /					
			高揚、植栽知識の普						
	目的•意図	また、地域での化と	緑のまちづくりの核と	なる人材の育成を作	すい、まらつくりのリー	ーターとしての活動を	で傾惚的に文援す		
( ;	期待できる効		の支援を行い、「花の			を充実させることによ	り、"花と緑であふ		
	果)	れる庭先・窓辺・まち	っかど"を創り・育む市	5民まちづくりの促進	を目指す。				
		東紫の社会 本	見 ボシケア 白	1 沙人 小学坛学儿	· 开控57.44	/ 计各 粉 .	\		
			民、ボランティア、自			(対象数:	)		
		総事業費 (平成27	年度 ~ 令和	2 年度)	156,362 <b>千</b>	円	)		
1	事業の概要	<b>総事業費</b> (平成 27 ①花と緑に関する情報 ②花と緑に関する研修	年度 ~ 令和 報の収集及び提供:総 修会、講習会等の開係	2 <b>年度)</b> 录の相談所の開設、は 崔:主催教室等の開係	156,362 <b>千</b> ベームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名	円 による情報提供 参加)、"みんなで作ろ			
	事業の概要 (全体計画)	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情: ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する学	年度 ~ 令和 報の収集及び提供:総 修会、講習会等の開係 習及び発表の場の提	2 <b>年度)</b> 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貸館業務(H30自	156,362 <b>千</b> スームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名 主教室等 289件、2,	<b>円</b> による情報提供 参加)、"みんなで作ろ 872人)、親子りんご収	7種体験、職業体験、		
		総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情 ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 個	年度 ~ 令和 報の収集及び提供: 総 修会、講習会等の開作 習及び発表の場の提 遠足の受入れ、花・緑 園内花壇・樹木の育成	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貨館業務(H30自 まちづくりフェスタin. 管理(花苗育苗 約4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ	円 による情報提供 参加)、"みんなで作ろ 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口	z穫体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒		
		総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情望の花と緑に関する研究をは関する学の推園・小学校等の ④花と緑の育成等: ほ駅前花壇他)、花と緑	年度 ~ 令和 報の収集及び提供:総 修会、講習会等の開作 習及び発表の場の提 遠足の受入れ、花・緑 園内花壇・樹木の育成	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貸館業務(H30自 ままらづくりフェスタin. 管理(花苗育苗 約4 対制度(H30 102団体	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ	円 による情報提供 参加)、"みんなで作ろ 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口	z穫体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒		
		総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情望の花と緑に関する研究をは、関する学の推園・小学校等の ④花と緑の育成等: ほいでは、 ・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール	年度 ~ 令和 報の収集及び提供: 総 修会、講習会等の開作 習及び発表の場の提 遠足の受入れ、花・緑 園内花壇・樹木の育成	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貸館業務(H30自 ままらづくりフェスタin. 管理(花苗育苗 約4 対制度(H30 102団体	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ	円 による情報提供 参加)、"みんなで作ろ 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口	z穫体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒		
	(全体計画) 業費(千円)A	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情望の花と緑に関する研究をは、関する学の推園・小学校等の ④花と緑の育成等: ほいでは、花と緑の育成等: ほいでは、花と緑の育成等: ほいでは、では、では、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総 報の収集及び提供:総 修会、講習会等の開作習及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成運営支援(H30利用者 平成28年度	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貸館業務(H30自 ままらづくりフェスタin. 管理(花苗育苗 約4 対制度(H30 102団体 者数 3,445人) 平成29年度	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ 、全額みどりの基金充 平成30年度	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 872人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口: 当)、花と緑の景観ま	7穫体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト 令和2年度		
	(全体計画) 業費(千円)A	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情報 ②花と緑に関する学 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの 平成27年度 ・緑の相談:1,600	年度 ~ 令和 報の収集及び提供:総 修会、講習会等の開作 習及び発表の場の提 遠足の受入れ、花・緑 園内花壇・樹木の育成 のわがまちづくり助成 運営支援(H30利用者 平成28年度 ・緑の相談:2,040	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貸館業務(H30自 ままらづくりフェスタin. 管理(花苗育苗 約4 対制度(H30 102団体 者数 3,445人) 平成29年度 ・緑の相談: 2,040	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名書 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ 、全額みどりの基金充 ・緑の相談:2,040	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 872人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口 当)、花と緑の景観ま <b>令和元年度</b> ・緑の相談:1,080	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
	(全体計画) 業費(千円)A	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情 ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する等 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの 平成27年度 ・緑の相談:1,600 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,532	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場の提達足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成の運営支援(H30利用を平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916	2 年度) 录の相談所の開設、オ 崔: 主催教室等の開作 供: 貸館業務(H30 定理(花苗育苗約4 之間度(H30 102団体 者数 3,445人) 平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,782	156,362 千 ホームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,676	円 による情報提供 参加)、"みんなで作ろ 872人)、親子りんご収 80春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口 当)、花と緑の景観ま <b>令和元年度</b> ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:6,380	7種体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380		
	(全体計画) 業費(千円)A	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情 ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 『 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,532 ・管理等委託料:	年度 ~ 令和報の収集及び提供:終修会、講習会等の開格を会、講習会等の開格選及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成か運営支援(H30利用する事務をのおがまちず、最の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理等委託料:	2 年度) 录の相談所の開設、は 能:主催教室等の開作 供:貸館業務(H30自まちづくりフェスタin」 管理(花苗育苗約4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名: 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,676 ・管理等委託料:	円 による情報提供 参加)、"みんなで作ろ 872人)、親子りんご収 80春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口 当)、花と緑の景観ま <b>令和元年度</b> ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料:	7種体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト ・その相談:1,080 ・花と練のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料:		
	(全体計画) 業費(千円)A	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情 ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 『 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,532 ・管理等委託料:	年度 ~ 令和 報の収集及び提供:終 修会、講習会等の開作 習及び発表の場の提 遠足の受入れ、花・緑 園内花壇・樹木の育成 のわがまちづくり助成 の運営支援(H30利用す ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916 ・管理等委託料:	2 年度) 录の相談所の開設、対 能:主催教室等の開格 供:貸館業務(H30自まちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4 就制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・管理等委託料: 6,424	156,362 千 ホームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,676	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口 当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のかまちづ くり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593	7種体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380		
	(全体計画) 業費(千円)A	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する情 ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 『 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの 平成27年度 ・緑の相談: 1,600 ・花と緑のわがまちづ くり助成金: 5,532 ・管理委託料: 6,877 ・花と緑の景観まちづ くりコンテスト: 142	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用君平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理33・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143	2 年度) 录の相談所の開設、対 報:主催教室等の開格 供:貸館業務(H30自ままちづくりフェスタin. 管理(花苗育苗約4 対制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・管理4 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名は 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 <b>平成30年度</b> ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口:当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150	種体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト ・ <b>令和2年度</b> ・ 緑の相談:1,080 ・ 花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・ 管理等委託料: 7,593 ・ 花と緑の景観まちづくりコンテスト:150		
	(全体計画) 業費(千円)A 内訳	総事業費 (平成 27 ①花と緑に関する研 ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 『 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの 平成27年度 ・緑の相談:1,600 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,532 ・管理等委託料: 6,877 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:142 ・その他:12,113	年度 ~ 令和報の収集及び提供:終修会、講習会等の開格修会、講習会等の開格選足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成立 支援(H30利用電学支援(H30利用電学を開発を制定している。 できる (19助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036	2 年度) 录の相談所の開設、対 能:主催教室等の開格 供:貸館業務(H30自まちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 <b>平成30年度</b> ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748	(穫体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748		
事	業費(千円)A 内訳 事業費計	<b>総事業費</b> ( <b>平成</b> 27 ①花と緑に関する研 ②花と緑に関する研 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 『駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの <b>平成27年度</b> ・緑の相談:1,600 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,532 ・管理等委託料: 6,877 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:142 ・その他:12,113	年度 ~ 令和 報の収集及び提供:終修会、講習会等の開格修会、講習会等の開格 選及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成かまちづくり地のがまちがといりが成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036	2 年度) 录の相談所の開設、対 能:主催教室等の開作 供:貸館業務(H30自まちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづ くりコンテスト:134 ・その他:9,874	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 872人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口 当)、花と緑の景観ま *本と緑の相談:1,080 *花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 *管理等委託料: 7,593 *花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 *その他:11,748	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事	業費(千円)A 内訳 事業費計 (從事者数(人·年) B	<b>総事業費</b> (平成 27 ①花と緑に関する情 ②花と緑に関する学 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの 平成27年度 ・緑の相談:1,600 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,532 ・管理等委託料: 6,877 くりコンテスト:142 ・その他:12,113	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場場の提慮足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成運営支援(H30利用者で成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036	2 年度) 录の相談所の開設、対 報:主催教室等の開格 供:貸館業務(H30自 注まらづくりフェスタin、 注きりづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4 対制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・管424 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129 ・その他:10,908  25,283  3.4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名書 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 <b>平成30年度</b> ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 872人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口: 当)、花と緑の景観ま *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	(種体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4		
事:職員	業費(千円)A 株費(千円)A 内訳 事業費計 縦事者数人・年) B 臨時職員 事人件費 C	## *** (平成 27	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開格修会、講習会等の開格で発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用君・平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のかがまちづくり助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036  25,868 3.4 3.0	2 年度) 录の相談所の開設、対 能:主催教室等の開作 供:貸館業務(H30自ままちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4 放制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・管理等委託料:6,424 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129 ・その他:10,908  25,283  3.4  3.0	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 <b>平成30年度</b> ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事: 概CC	業費(千円)A 内訳 事業費計 從事者数(人·年) B 臨時職員	<b>総事業費</b> (平成 27 ①花と緑に関する情 ②花と緑に関する学 ③花と緑に関する学 幼稚園・小学校等の ④花と緑の育成等: 駅前花壇他)、花と緑 ⑤Cafeふろーらむの 平成27年度 ・緑の相談:1,600 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,532 ・管理等委託料: 6,877 くりコンテスト:142 ・その他:12,113	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場場の提慮足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成運営支援(H30利用者で成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036	2 年度) 录の相談所の開設、対 報:主催教室等の開格 供:貸館業務(H30自 注まらづくりフェスタin、 注きりづくりフェスタin、 注理(花苗育苗約4 は制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・管424 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129 ・その他:10,908  25,283  3.4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名書 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 <b>平成30年度</b> ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 872人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口: 当)、花と緑の景観ま *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	(種体験、職業体験、 000人) 観光塔花壇、東生駒 ちづくりコンテスト ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4		
事: 概CC	(全体計画) 業費(千円)A 内訳 事業費計 (従事事職員 *人件質 C B×6,700千円+臨 (情令) 概算コスト	## *** (平成 27	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開格で発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用電学を19助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の身観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036 25,868 3.4 3.0 26,290	2 年度) 录の相談所の開設、対 能:主催教室等の開格 供:貸館業務(H30自ままちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4 対制度(H30 102団体者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782・管理等委託料:6,424・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129・その他:10,908  25,283 3.4 3.0 26,219	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0 26,275	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0 26,275	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事職員概で	(全体計画) 業費(千円)A 内訳 事業費計 従事者数(人・年) B 臨時職員 EA+での千円+臨 配号金)コスト A+C	<ul> <li>総事業費 (平成 27</li> <li>①花と緑に関する情・②花と緑に関する学・幼稚園・小学校等の・④花と緑の育成等・園駅前花壇他)、花と緑の相談・1,600・花と緑のわがまちづくり助成金・5,532・でと緑の景観まちづくりコンテスト・142・その他・12,113</li> <li>26,264</li> <li>2.4</li> <li>4.0</li> <li>20,117</li> <li>46,381</li> </ul>	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用君平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036  25,868 3.4 3.0 26,290 52,158	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔:主催教室等の開作 供:貸館業務(H30自ままちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4 就制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・行と緑のおがまちづくりの場合を表に料:6,424 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129 ・その他:10,908  25,283  3.4  3.0  26,219	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづ くりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0 26,275	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口: 当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0 26,275	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事: 概CC	(全体計画)  業費(千円)A  事業費(千円)A  協時職員 (人・年) B  協時職員 (人・年) B  高時職員 (人・日) B  高時職員 (日) B  高明 B	### 1 (平成 27 年度 27 年度 (平成 27 年度 27 年度 (平成 27 年度 27 年度 27 年度 27 年度 (平成 27 年度 27 年度	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開格で発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用電学を19助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の身観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036 25,868 3.4 3.0 26,290	2 年度) 录の相談所の開設、対 能:主催教室等の開格 供:貸館業務(H30自ままちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4 対制度(H30 102団体者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782・管理等委託料:6,424・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129・その他:10,908  25,283 3.4 3.0 26,219	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづ くりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0 26,275	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0 26,275	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事職員概で	(全体計画)  業費(千円)A  事業費(千円)A  事業費(人・年) B  臨時職員 ・	<ul> <li>総事業費 (平成 27</li> <li>①花と緑に関する情・②花と緑に関する学・幼稚園・小学校等の・④花と緑の育成等・園駅前花壇他)、花と緑の相談・1,600・花と緑のわがまちづくり助成金・5,532・でと緑の景観まちづくりコンテスト・142・その他・12,113</li> <li>26,264</li> <li>2.4</li> <li>4.0</li> <li>20,117</li> <li>46,381</li> </ul>	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用君平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036  25,868 3.4 3.0 26,290 52,158	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔:主催教室等の開作 供:貸館業務(H30自ままちづくりフェスタin、 管理(花苗育苗約4 就制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・行と緑のおがまちづくりの場合を表に料:6,424 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:129 ・その他:10,908  25,283  3.4  3.0  26,219	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづ くり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづ くりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0 26,275	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口: 当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0 26,275	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事職員概で	(全体計画)  業費(千円)A  事業費計 (本事者数人・年)B  臨時職員 EB×6,700千円+臨 EB×6,700千円+臨 EB×6,700十円+臨 EB×6,700 コスト A+C 源 国・県支出金 起債	<ul> <li>総事業費 (平成 27</li> <li>①花と緑に関する情望をはいます。</li> <li>②花と緑に関する学ののでは、水子をはいます。</li> <li>③花と緑に関する学のでは、水子をはいまます。</li> <li>⑤Cafeふる一らむの</li> <li>平成27年度</li> <li>・緑の相談:1,600・大子と緑の相談:5,532・管理等委託料:6,877・花と緑の景観まちづくり助成金:5,532・管理等委託料:12</li> <li>・スアンテスト:142・その他:12,113</li> <li>26,264</li> <li>2.4</li> <li>4.0</li> <li>20,117</li> <li>46,381</li> </ul>	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用君平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理33・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036  25,868 3.4 3.0 26,290 52,158	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貨館業務(H30自ままちづくりフェスタin. 注管理(花苗育苗約4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 <b>平成30年度</b> ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0 26,275 51,320	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口: 当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0 26,275	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事職員概で	(全体計画)  業費(千円)A  事業費計  従事者数(人・年) B  臨時職員  EA + C  の	<ul> <li>総事業費 (平成 27</li> <li>①花と緑に関する情・②花と緑に関する学・幼稚園・小学校等の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用君平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のかがまちづくり助成金:5,916・管理等委託料:6,733・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036 25,868 3.4 3.0 26,290 52,158 52,158	2 年度) 录の相談所の開設、オ 能:主催教室等の開作 供:貸館業務(H30自ままちづくりフェスタin. 管理(花苗育苗約4 就制度(H30 102団体 者数 3,445人)  平成29年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,782 ・管理4 ・花と緑の見がまちづくりの8 25,283 3.4 3.0 26,219 51,502 51,502	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 平成30年度 ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理等委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0 26,275 51,320 5,676	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口:当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0 26,275 53,226	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		
事 職 概 ( ) 時	(全体計画)  業費(千円)A  事業費計 (本事者数人・年)B  臨時職員 EB×6,700千円+臨 EB×6,700千円+臨 EB×6,700十円+臨 EB×6,700 コスト A+C 源 国・県支出金 起債	<ul> <li>総事業費 (平成 27</li> <li>①花と緑に関する情望をはいます。</li> <li>②花と緑に関する学ののでは、水子をはいます。</li> <li>③花と緑に関する学のでは、水子をはいまます。</li> <li>⑤Cafeふる一らむの</li> <li>平成27年度</li> <li>・緑の相談:1,600・大子と緑の相談:5,532・管理等委託料:6,877・花と緑の景観まちづくり助成金:5,532・管理等委託料:12</li> <li>・スアンテスト:142・その他:12,113</li> <li>26,264</li> <li>2.4</li> <li>4.0</li> <li>20,117</li> <li>46,381</li> </ul>	年度 ~ 令和報の収集及び提供:総修会、講習会等の開作習及び発表の場の提遠足の受入れ、花・緑園内花壇・樹木の育成のわがまちづくり助成。運営支援(H30利用君平成28年度・緑の相談:2,040・花と緑のわがまちづくり助成金:5,916・管理33・花と緑の景観まちづくりコンテスト:143・その他:11,036  25,868 3.4 3.0 26,290 52,158	2 年度) 录の相談所の開設、対 崔: 主催教室等の開作 供: 貨館業務(H30自ままちづくりフェスタin. 注管理(花苗育苗約4	156,362 千 ボームページ・SNS等 崔(H30 79回、865名。 主教室等 289件、2, ふろーらむの開催(H: 万株)、公共施設等へ、全額みどりの基金充 <b>平成30年度</b> ・緑の相談:2,040 ・花と緑のわがまちづくり助成金:5,676 ・管理委託料: 7,321 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:134 ・その他:9,874 25,045 3.4 3.0 26,275 51,320	円 による情報提供 参加)、"みんなで作名 372人)、親子りんご収 30春 1,300人、秋 2, の花苗の提供(俵口: 当)、花と緑の景観ま ・緑の相談:1,080 ・花と緑のわがまちづくり助成金:6,380 ・管理等委託料: 7,593 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト:150 ・その他:11,748 26,951 3.4 3.0 26,275	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込)
活	動実績	・花と緑のわがまちづくり助成制度:105件 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト応募件数:22件 ・緑の相談件数:501件	・花と緑のわがまちづくり助成制度:102件 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト応募件数:17件 ・緑の相談件数:514件	・花と緑のわがまちづくり助成制度:102件 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト応募件数:16件 ・緑の相談件数:521件	・花と緑のわがまちづくり助成制度:103件 ・花と緑の景観まちづくりコンテスト応募件数:19件 ・緑の相談件数:500件
成果:	:				
美績		助成金を活用して、公園、歩 道等に年2回の植込みと日々 の水やりや草引きなどの管理 をボランティアで行っていただ いている。	助成金を活用して、公園、歩 道等に年2回の植込みと日々 の水やりや草引きなどの管理 をボランティアで行っていただ いている。	助成金を活用して、公園、歩 道等に年2回の植込みと日々 の水やりや草引きなどの管理 をボランティアで行っていただ いている。	助成金を活用して、公園、歩 道等に年2回の植込みと日々 の水やりや草引きなどの管理 をボランティアで行っていただ いている。

### 3 事業の必要性、有効性、効率性等

3 事業の必要性、有効性、効率性等					
〕市民の日常生活に不可欠 ■ 市民の日常生活に不可欠ではない					
本来、市が関与すべき事業か?時代やニーズの変化により、事業の必要性が薄れていないか?この事業を廃止した場合、重大な支障があるか?など					
必要性「緑の相談」について、相談以外の方法としてインターネット等により容易に調べることができるようになってきた。					
事業目的に対して成果は十分でているか?他都市の水準と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地はないか?など					
有効性 妥当性 でいる。しかし、県内で緑の相談所を設置しているのは本市のみであることから、緑の相談業務を県にも対応してもらってはどうかと考える(以前は、県でも対応されていた)。					
成果を低下させず、コストを削減することができるか?外部委託など、民間の活用により業務を効率化できるか?手順や手続等の簡素化で、業務を効率化できるか?適切な受益者負担を行っているか?など					
効率性 ふろーらむでの相談日を週3日から週1日に減少することにより、緑の相談に係る人件費を削減できる。H30の年間実績は、相談日数 147日、相談件数225件で、1日当たり約1.5件であることから、週1日にした場合でも1日当たり約5件となり、サービス低下にならないと考える。なお、出張相談(たけまるホール: 週半日でH30は140件、南コミュニティセンター: 週半日でH30は156件)は、現状通りとする。					
その他(事業の先進性や独自性などシティプロモーションに寄与するか、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容 そ記入してください。)					

#### 4 事業の課題(現在生じている課題、今後継続するにあたり懸念される課題等)とその改善策

今後継続するにあたり懸念される主な課題としては、施設の老朽化に伴う施設保全費用の増加などが考えられる。 また、ふろーらむ設立当初の趣旨から事業内容も時代とともに変化してきたことから、再度、ふろーらむが目指すべき方向性を明確にする必要がある。

なお、本市における花と緑のまちづくりの推進に向けて、花のまちづくりセンターの運営は必要であるが、今後、本市の財政状況が大変厳しい状況に陥るようであれば、コスト削減等を図るための事務事業の見直しは致し方ないと考える。

#### 5 事業の沿革、変遷等

市民の花と緑に対する関心が高まるなか、平成4年度から進めている「生駒フラワーシティ推進事業」をさらに充実させるための拠点施設として、また、市民と行政が一体となって花と緑のまちづくりを進めるための「情報発信基地」の役割を担う施設として、「花のまちづくりセンター」の整備が進められ、平成13年4月にオープンした。

その後、平成16年度の「生駒市緑の基本計画」策定を契機に、「花と緑と自然の先端都市・生駒」の実現に向けて、「情報発信基地」から「花と緑と自然の市民まちづくりの拠点施設」へと発展し、市民の緑化意識の高揚、植栽知識の普及を図るなどにより、市民による花と緑のまちづくり活動の支援を行っている。

【事業診断】			
今後の方向性	□ 廃止 ■	改善のうえ継続	□ 現状で継続
【事務事業の改善案】		$\bigcirc$	
改善案の区分		具体案	
サービスの範囲・水準の見直し	・「緑の相談」に係る相談日の削減ふろーらむでの相談日を週3日から週100万円削減できる。H30の年間実績ることから、週1日にした場合でも1日:張相談(たけまるホール:週半日でH3現状通りとする。ただし、緑の相談員も行ってもらっているので、これらの業	1日に減少することにより、 は、相談日数147日、相談 当たり約5件となり、サービ 0は140件、南コミュニティー こは相談業務の他にふろ	件数225件で、1日当たり約1.5件であ ス低下にならないと考える。なお、出 センター:週半日でH30は156件)は、 -らむの園内花壇、樹木の育成管理
実施手法の改善			
受益者負担の改善			
その他の改善			
	■ 令和元年度中		 きない理由を記載してください。)
改善案の実施時期	□ 令和2年度中		
7,2,00,00	□ 令和3年度以降		
	事業費	□ 増加	□ 維持 ■ 削減
コストの改善方向	人員	□ 増加	■ 維持 □ 削減
【総合所見】		-	
これまでも、ふろ一らむにおいては、事で花と緑のまちづくりを推進する活動をこれらの事業に加えて、現在は、地域ラルガーデンとなるよう取り組み、ツイるよう努めている。また、新たにガーデンパーティを実施しを行っているところである。なお、今後の方向性については、本市目的をより明確にしたうえで、事務事事	を行っていただいたりするなど、一!の花のまちづくりのモデルとなるよッター等で今のふろーらむの様子・ したり、ふろーらむを子育て世代や	定の成果があったものと うな花壇づくりとして、& やナチュラルガーデンの 高齢者が集える場とす。 想定されるため、コスト	:考える。 ふろーらむの庭を魅力的なナチュ )取り組み方のノウハウを発信す るなど多様な活用を図るよう見直

		担 当 課 国保医療課
事業名	子ども医療費助成事業	
予算費目	款  3 項  2 目  1 事業 子ども医療費助成事業費	

#### 1 事業概要 法令等の 生駒市子ども医療費助成条例 ■ 有(実施義務があるもの) 名称 ] 有(規定はあるが義務ではないもの) 根拠法令等 ↑無(法的根拠はないが、国、県等の指導、要請等に基づくもの) □無(市独自の事業) ] 有(国/県の基準(費用負担割合)どおり実施) ■ 有(国/県の基準はあるが、市独自基準(費用負担割合)で実施) 国/県の基準 (国/県の基準) 所得制限:あり 一部負担金:通院500円/レセプト(小中は1,000円)、入院1,000円/レセプト 所得制限:なし 一部負担金:通院500円/レセプト(小中も500円)、入院1,000円/レセプト (市独自基準) 上位計画等の 上位計画等の名称 位置づけ ⋾無 48 年度 |※裏面「5 事業の沿革、変遷等」にも記載してください。 事業開始年度 事業期間 事業終了年度 🏻 設定有り 年度まで ■ 終了年度の設定はない □ 他市では全く事例がない。 他市の状況(具体的に) 県基準では所得制限を設定しているものの、県内すべての市 □ 他市でも実施しているが事例は少ない。 他市の実施状 町村で撤廃。助成対象や窓口での一部負担においても各市 全ての市ではないが、多くの市で実施している。 況 町村においてそれぞれ独自に設定している。 ■ 全ての市が実施している。 ■ 無し 国、県、民間での 類似事業の有無 □県 □ 有り ( □ 国 □ 民間 (当該事業を実施することによって何をめざすのか) 子どもを養育している者に対し、子どもに係る医療費の一部を助成し、もって子どもの健康の維持及び福祉の増進を図 目的•意図 (期待できる効 果) 中学生までの児童 事業の対象 (対象数: 18,000 総事業費 (平成27 年度 ~ 令和 年度) 1,866,808 千円 事務費:13,741千円 扶助費:354,792千円 事業の概要 現物給付システム改修費:1,100千円 (全体計画) 事業費(千円)A 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 事務費 6,904 事務費 10,618 事務費 9,919 事務費 9,892 事務費 13,741 事務費 16,624 扶助費 155,287 扶助費 241,536 扶助費 335,440 扶助費 338,421 扶助費 354,792 扶助費 369,160 3,374 システム改修 ンステム改修 1,100 内訳 162,191 252,154 345,359 351,687 369,633 385,784 事業費計 職員従事者数(人・年) 日 2.0 3.0 3 ( 3 ( 3 ( うち臨時職員 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 概算人件費 C 20,100 20,100 20,100 20,100 20,100 13,400 (C=B×6,700千円) 概算コスト 175,591 272,254 365,459 371,787 389,733 405,884 A+C財源 175,591 272,254 389,733 405,884 365,459 371,787 国·県支出金 75,653 94,769 133,883 144,318 154,540 162,354 起債 その他特財 -般財源 99,938 177,485 231,576 227,469 235,193 243,530 (内交付税措置)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込)
357	<b>舌動実績</b>	未就学児: 通院・入院の医療費を助成 小学生: 入院の医療費を助成 (8月から小・中学生の通 院・入院まで拡大)	小•中学生:		未就学児: 通院・入院の医療費を助成 (8月から県内医療機関は 現物給付方式採用) 小・中学生: 通院・入院の医療費を助成
Ę	数値指標による成果	助成件数:152,675件 助成総額:241,536千円	助成件数:207,936件 助成総額:335,440千円	助成件数:206,050件 助成総額:338,421千円	助成件数:226,500件 助成総額:354,792千円
与糸					

#### 3 事業の必要性、有効性、効率性等

3 事業の必要性、有効性、効率性等					
□ 市民の	り日常生活に不可欠	□ 市民の日常生活に不可欠ではない			
	本来、市が関与すべき事業か?時 障があるか?など	代やニーズの変化により、事業の必要性が薄れていないか?この事業を廃止した場合、重大な支			
必要性	む中、若い世代が経済的な不多	なく、全ての子どもが必要な医療を受けることができる制度であり、全国的に少子化が進 安を感じることなく子どもを生み育てられる環境をつくるために、特に負担が大きい子ども もの健全な育成に寄与するものである。			
	事業目的に対して成果は十分でで	いるか?他都市の水準と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地はないか?など			
有効性 妥当性	を設けていない」「小・中学生の	医療が受けられることから事業効果は高いと考えている。 県基準と比較すると「所得制限一部負担金を半額にしている」点で基準を緩和しており、市の単独事業となっているたは可能であると考える。 (県補助基準部分は県の補助金が1/2)			
		ることができるか?外部委託など、民間の活用により業務を効率化できるか?手順や手続等の簡 適切な受益者負担を行っているか?など			
効率性	となったことから効率化されたが	助成であることから、扶助費の削減は難しい。また事務においては助成方法が自動償還 、、平成31年度から「未就学児の現物給付」が開始されることから、より気軽に受診できるこ 加と助成方法が並存することによる事務処理量の増加が懸念される。			
その他(事 を記入して		モーションに寄与するか、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容			

## 4 事業の課題(現在生じている課題、今後継続するにあたり懸念される課題等)とその改善策

- ・本市の子ども医療費助成制度は、県基準と比較すると「所得制限を廃止している」「小中学生の一部負担金1,000円を500円にしている」部分で基準を緩和していることから、市の単独負担となる多額の助成財源の確保が必要となる。
- ・「所得制限」を設定することになると「更新案内」「申請受付」「所得調査」「結果通知」などの事務が新たに増える。
- ・「現物給付」の実施に向けた協議でも、県内市町村で制度を統一していこうという動きがあることから、制度の見直しを実施するなら県基準までの縮小と考える。
- ・令和元年8月から「未就学児現物給付」が開始される。今まで「自動償還払い」により助成していた対象者の一部が「現物給付」となることから、より気軽に受診できることになるため、医療費自体の増加が見込まれると共に、助成方法が並存することにより、これまで以上に複雑化し、事務処理量も増えることは明らかであることから職員の増員が必要となる。

#### 5 事業の沿革、変遷等

- 「・昭和48年 乳幼児医療費助成制度開始:未就学児童に対する通院・入院の医療費を助成
- ・H17.8~ 助成方法を自動償還払いに
- ・H24.8~ 小学生の入院を助成対象(子育て支援の充実)とし、一部負担金を設定(ひとり親医療費助成はH23に実施)
- ・H26.4~ 中学生の入院を助成対象に
- ・H28.8~ 小・中学生の通院を助成対象に(県内市町村の足並みがそろい、県もそれに応えることで実施)
- ・H28.8~ ひとり親家庭、心身障害者、重度心身障害者医療費助成で所得制限(社会保障経費が増大する中、持続可能な制度にするために県基準に合わせる)(子ども医療費助成は子育て支援と子育て世代の獲得のため)
- ・R1.8~ 助成方法を現物給付に(未就学児のみ)

【事業診断】			
今後の方向性	□ 廃止	□ 改善のうえ継続	■ 現状で継続
【事務事業の改善案】		$\bigcirc$	
改善案の区分		具体案	
サービスの範囲・水準の見直し	増進、また少子化対策の一策として、「小学生の入院」 してきたものの、市の財政と 国保の県単位化や医療費・ 制度運営のため、制度を大 「県基準」までと考える。	・環として乳幼児医療費助成 、「小・中学生の通院・入院」 犬況等を鑑み、増え続ける事 助成の現物給付など県内市 きく縮小することは難しいと	を助成することで子どもの健康維持」が整備され、その後各市町村の政、「所得制限の撤廃」と基準を緩和業費の削減、見直しを検討するも、町村の意思統一が図られた中での考えるが、見直しを検討するならば
実施手法の改善	内市町村統一して実施する 度運営を目指している中で よる事務量の増加に加え、 得調査」「結果通知」などの	ることから、本市のみ「所得制 な逆行した制度設計になる。 「所得制限」を設定することに	ている。「現物給付」においても県限」を設けることは県内統一した制と考える。また「現物給付」の実施にこなると「更新案内」「申請受付」「所り事務を行うこととなり、職員の増やになる。。
受益者負担の改善	県基準は未就学児の通院: 500円)となっている。制度別小・中学生は1,000円と段階	が500円、小・中学生が1,000 開始当初は自己負担はなかっ 皆的に設定してきたが、本市(	14日以内は500円)としている。 円、入院は1,000円(14日以内は ったが、県基準が未就学児500円、 よそれに遅れて一部負担金を変更 しを検討するなら、県基準までかと
その他の改善			
		実施目標年度	<b>手</b>
	□ 令和元年度中	(31年度までに実施	できない理由を記載してください。)
改善案の実施時期	□ 令和2年度中		

<b>⊢</b>	実施目標年度	年度
□ 令和元年度中	(31年度までに実施できない	理由を記載してください。)
□ 令和2年度中		
□ 令和3年度以降		
事業費	□増加□∶	維持 ■ 削減
人員	■増加□	維持 □ 削減
	□ 令和2年度中 □ 令和3年度以降 事業費	□ 令和元年度中 □ 令和2年度中 □ 令和3年度以降  事業費 □ 増加 □ :

### 【総合所見】

子ども医療費助成制度は全国の市町村で実施している事業であり、各市町村において「対象者」や「所得制限の設定」「一部負担 金の有無、金額」などを独自に支給基準を設定している。本市においては県基準と比較すると「所得制限を廃止している」「小・中 学生の一部負担金1,000円を500円にしている」部分で基準を緩和している。今年度から始まる「現物給付」の協議においても県内 市町村の制度を統一していこうと意思統一が図られてきていることから、制度の見直しを実施するなら県基準までの縮小と考える。ただ、「所得制限」を設けることになると事業費全体の削減にはつながるものの更新手続や所得確認などの事務量が増え、また「現 物給付」の開始に伴い事務が複雑化することから職員の増員が必要となる。結論として、担当課としては少子化対策など政策的な 判断になるものと考える。

	所得制限	自己負担	H30予算	県補助	一般財源	効果	(単位:千円)
現 在	なし	あり	336,587	143,049	193,538		
1,000円(県基準)	なし	あり	316,160	143,049	173,111	△ 20,427	1
1,000円(県基準)	あり	あり	286,098	143,049	143,049	△ 50,489	1
500円(現状)	あり	あり	312.342	143 049	169.293	△ 24 245	(効果は一般!

効果は一般財源によ

る比較)

		担当課 こども課
事業名	【負】私立保育所保育実施負担金	•
予算費目	款  3 項  2 目  2 事業 11 保育実施事業費	

1	事業概要							
		■ 有(実施義務が		法令等の児童	童福祉法 ども・子育て支援法			
根	拠法令等		が義務ではないもの	<b>グ</b> ) 11 1小				
		□ 無(法的根拠は □ 無(市独自の事	ないが、国、県等の **	)指導、要請寺に基	<sub>5</sub> つくもの)			
			·耒 <i>)</i> ·準(費用負担割合)	どおり宝施)				
	- 44.14		準はあるが、市独国		合)で実施)			
国	/県の基準	国/県の基準		1 <del>2</del> + \22	10/ 55/20/			
		(市独自基準)						
L	位計画等の	□有						
	世計画寺の 置づけ	上位計画等	等の名称 ニューニー					
		■無	20 左曲 火	ニーニューキャッツョ	- <del></del>	·· ー / 松上 i 、		
事	業期間	事業開始年度			▼ 終了年度の記号		_	
		事業終了年度 □ □ 他市では全く事	設定有り	年度まで	■ 終了年度の設定 他市の状況(具体的)			
栅	市の実施状		でいるが事例は少れ		児童福祉法、子ども・	子育て支援法により	規定された事業であ	
況			いが、多くの市で実		り、全ての市が実施し	<b>たいる。</b>		
		<ul><li>■ 全ての市が実が</li></ul>		<b>4,,2</b> = -				
	、県、民間での	_ ■ 無し						
類	似事業の有無	□ 有り ( □ 国	□県 □民					
			ることによって何をめさ		ニート 炊き /口	カルを旧本行列外	の甘油と外出より	
			こついて、心身ともに 育所に委託したときに					
	目的・意図 期待できる効	大を図る。	1//(-				-227 (70223)(123)	
( ;	果)							
		事業の対象		保育所・認定こども		(対象数:	)	
		総事業費 (平成27			12,785,099 千		の字佐に亜土て弗	
		児童福祉法に基づいて保育に欠ける児童を保育所に入所させた場合に、民間保育所における保育の実施に要する費用として支弁する。						
	事業の概要 (全体計画)	負担割合 国1/2、県1/4、市1/4						
_			= p.,				A === t== t=	
争	業費(千円)A	平成 <b>27年度</b> 1,650,818	平成 <b>28年度</b> 1,849,479	<b>平成29年度</b> 2,008,744	平成30年度 2,134,158	<b>令和元年度</b> 2,570,950	<b>令和2年度</b> 2,570,950	
			1,043,413			2,510,550	2,510,550	
		市内17園	市内20園	市内20園 市外24園	市内21園			
	内訳	市外18園	市外15園	ITIグト24国	市外30園			
前網	事業費計	1,650,818	1,849,479	2,008,744	2,134,158	2,570,950	2,570,950	
יע אפיר	員従事者数(人・年) B	1,650,818	1,849,479	2,008,744	2,134,158	2,570,950	2,570,950	
	6従事者数(人・年) B うち臨時職員							
	6従事者数(人·年) B うち臨時職員 概算人件費 C C=B×6,700千円)	1,650,818	1,849,479	2,008,744	2,134,158 0	2,570,950	2,570,950	
	うち臨時職員 概算人件費 C							
	機能事者数(人・年) B	0	0	0	0	0	0	
((	<ul> <li>後事者数(人・年) B</li> <li>うち臨時職員</li> <li>概算人件費 C</li> <li>二B×6,700千円)</li> <li>概算コストム+C</li> <li>源</li> <li>国・県支出金</li> </ul>	0 1,650,818	0 1,849,479	2,008,744	0 2,134,158	2,570,950	2,570,950	
((	後事者数(人・年) B うち臨時職員 概算人件費 C C=B×6,700千円) 概算コスト A+C 源 国・県支出金 起債	1,650,818 1,650,818 701,962	1,849,479 1,849,479 782,498	2,008,744 2,008,744 900,055	2,134,158 2,134,158 964,883	2,570,950 2,570,950 1,336,242	2,570,950 2,570,950 1,336,242	
((	後事者数(人・年) B うち臨時職員 概算人件費 C =B×6,700千円) 概算コスト A+C 源 国・県支出金 起債 その他特財	0 1,650,818 1,650,818 701,962 462,258	1,849,479 1,849,479 782,498 514,335	2,008,744 2,008,744 900,055 519,075	2,134,158 2,134,158 964,883 539,779	2,570,950 2,570,950 1,336,242 575,707	2,570,950 2,570,950 1,336,242 575,707	
((	後事者数(人・年) B うち臨時職員 概算人件費 C C=B×6,700千円) 概算コスト A+C 源 国・県支出金 起債	1,650,818 1,650,818 701,962	1,849,479 1,849,479 782,498	2,008,744 2,008,744 900,055	2,134,158 2,134,158 964,883	2,570,950 2,570,950 1,336,242	2,570,950 2,570,950 1,336,242	

		平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込)	令和元年度(見込)
-	私中体	決算額 1,849,479千円	決算額 2,008,744千円	決算見込額 2,134,158千 円	見込額 2,570,950千円
沽	動実績	市内20園 市外15園	市内20園 市外24園		
成果実績	数値指標による成果	適切な保育サービスを提供できた。	適切な保育サービスを提供できた。	適切な保育サービスを提供できた。	
美績	数値で表せない成果				

#### 3 事業の必要性、有効性、効率性等

3 争未り	が必要性、有効性、効率性等
□ 市民の	の日常生活に不可欠 ■ 市民の日常生活に不可欠ではない
必要性	本来、市が関与すべき事業か?時代やニーズの変化により、事業の必要性が薄れていないか?この事業を廃止した場合、重大な支障があるか?など 児童福祉法及び子ども・子育て支援法により義務付けられているため、必ず給付する必要がある。
有効性 妥当性	事業目的に対して成果は十分でているか?他都市の水準と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地はないか?など 児童福祉法及び子ども・子育て支援法により義務付けられているため、妥当である。
効率性	成果を低下させず、コストを削減することができるか?外部委託など、民間の活用により業務を効率化できるか?手順や手続等の簡素化で、業務を効率化できるか?適切な受益者負担を行っているか?など 公定価格から利用者負担分を差し引くこととされており、そこに特段の裁量が無いため、算出は容易で効率的である。
	**  **  **  **  **  **  **  **  **  **

### 4 事業の課題(現在生じている課題、今後継続するにあたり懸念される課題等)とその改善策

法に基づき実施しているため特にないが、公定価格の増加、処遇改善に対する給付方法の変更に伴い、市の支出が増加する可能性がある。

#### 5 事業の沿革、変遷等

子ども・子育て支援新制度が平成27年度に導入されたことをふまえ、本市においても認定こども園への移行が平成29年度より始まった。子ども・子育て支援新制度における認定こども園・小規模園等への「施設型給付」は子ども・子育て支援法により義務付けられた給付方法により実施している。

【事業診断】				
今後の方向性	□廃止□□	〕改善のうえ継続	■ 現状	で継続
【事務事業の改善案】		Ţ		
改善案の区分		 具体案		
サービスの範囲・水準の見直し				
実施手法の改善				
受益者負担の改善				
その他の改善				
		実施目標年度		
改善案の実施時期	□ 令和元年度中 □ 令和2年度中 □ 令和3年度以降	(31年度までに実施で	きない理由を	記載してください。)
	事業費	□増加	□ 維持	□ 削減
コストの改善方向	人員	□ 増加	□維持	□削減
【総合所見】	•			
法定補助金であり、本市の事務に 遇改善に対する給付方法の変更に ことから、今後の幼児教育無償化の	¥って、市の支出が増加する可能性	があり、市の財政にも	したとおり、公 多大な影響を-	定価格の増加、処 与えるものと考える

					担	当課 こども課			
	業名	【補】私立保育所	市単独補助金						
予.	算費目	款 3項	2 目 1 事業 2	5 私立保育所道	軍営等助成費				
1	事業概要								
		□ 有(実施義務/	<b>バあるもの</b> )	法令等の					
坦	拠法令等	□ 有(規定はある	が義務ではないもの	<b>)</b> ) 名称					
怄	炒本中寺	☐ 無(法的根拠I	はないが、国、県等 <i>の</i>	)指導、要請等に基・	づくもの)				
		■ 無(市独自の	[業]						
		□ 有(国/県の	基準(費用負担割合)	どおり実施)					
囯	/県の基準		<b>基準はあるが、市独</b> 目	自基準(費用負担割	合)で実施)				
	/ 示切坐十	(国/県の基準	<b>基</b> )						
		(市独自基準)							
<b>.</b>	位計画等の	□有							
	置づけ		画等の名称						
		無							
事	業期間	事業開始年度		(裏面「5 事業の沿革					
_		事業終了年度	設定有り	年度まで	■ 終了年度の設置				
		□他市では全く			他市の状況(具体的	(=)			
	市の実施状	□ 他市でも実施しているが事例は少ない。 市独自で何らかの民間保育所への補助を行っている。(別					行っている。(別紙		
況			ないが、多くの市で実	ぎ 他している。	参照)				
		□ 全ての市が実	他している。						
	県、民間での以事業の有無	□ 無し ■ 有り ( ■ 国	] ■県 □民	. 199 )					
块	<b>以ず未の</b> 円 示	<b>—</b> :: •	】 ■ 県 □ 民	,					
		(ヨ政争未で关心り	ることによって何をめる	( y 0) ( )					
	n 44 <del>25</del> 50	私立保育所が健	全な経営を持続してレ	くために、国や県か	らの補助対象とならな	ない事業に対して補具	助を行い、子育て		
	目的・意図 期待できる効	支援施策の充実を	図る。						
( >	果)								
		事業の対象		私立保育所		(対象数:	)		
		総事業費(平成	27 年度 ~ 令和	2 年度)	455,678 <b>∓</b>	円			
1	事業の概要		・行事費補助金 ・給与改善費補助金 ・嘱託医報酬補助金 ・施設運営費補助金						
(	(全体計画)	・民間保育園備品充実費補助金 ・修理費補助金 - トレー・ - トレー							
事:	業費(千円)A	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		67,1 (別紙参照		2 74,860 (別紙参照)	78,485 (別紙参照)	80,345	80,345		
		(万寸和八) 片	(万寸和八参 黒八	(加州多州)	(万寸和八参 片尺)				
	内訳								
	± ** # = 1	C7 1	74.400	74.000	70 405	00.245	00.245		
THE CO.	事業費計	67,1	74,462	74,860	78,485	80,345	80,345		
職貝	従事者数(人·年) B								
	うち臨時職員 概算人件費 C								
	成界人件負 し にB×6,700千円)		0	0	0	0	0		
	概算コスト A+C	67,18	74,462	74,860	78,485	80,345	80,345		
財		67,18	74,462	74,860	78,485	80,345	80,345		
	国·県支出金								
	起債								
	その他特財								
	一般財源	67,18	31 74,462	74,860	78,485	80,345	80,345		
	(内交付税措置)	0,,10	, 1, 102	1,1,000	10,100	55,510	55,516		

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込)
活	動実績	決算額 74,462千円 (別紙参照)	決算額 74,860千円 (別紙参照)	決算見込額 78,485千円 (別紙参照)	見込額 80,345千円
成果実績	レスポ田	「給与改善費補助金」、「嘱託医報酬補助金」等の6補助金について、当初見込みより実績が増加した。	託医報酬補助金」等の6補 助金について、当初見込み		
<b>実績</b>	数値で表せない成果				

3 事業の	3 事業の必要性、有効性、効率性等					
□ 市民の	の日常生活に不可欠 ■ 市民の日常生活に不可欠ではない					
	本来、市が関与すべき事業か?時代やニーズの変化により、事業の必要性が薄れていないか?この事業を廃止した場合、重大な支障があるか?など					
必要性	年々増加する保育ニーズに応えるために民間保育園が担っている役割は大きく、その健全な運営を継続させるためには、国や県補助で対応できない支出に対して補助る必要がある。					
	しかし、保育士確保のために必要とされる保育士の処遇改善に係る補助の増額や対象となる保育所が限定され実績が少ない補助の廃止など見直しの余地がある。					
	事業目的に対して成果は十分でているか?他都市の水準と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地はないか?など					
有効性 妥当性	利用数等の当初見込みより実績数が上回っている補助メニューが多いことから有効であるが、必要とする保育所が限 定的であったり必要性が低いと思われる補助メニューについて見直しを行ったが、一部の保育所で混乱が生じている。					
	成果を低下させず、コストを削減することができるか?外部委託など、民間の活用により業務を効率化できるか?手順や手続等の簡素 化で、業務を効率化できるか?適切な受益者負担を行っているか?など					
効率性	補助メニューが多くその審査に時間を要することから、必要性の少ない補助を廃止するなど見直しの余地がある。					
その他(事 記入してく)	「業の先進性や独自性などシティプロモーションに寄与するか、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容を ださい。)					

#### 4 事業の課題(現在生じている課題、今後継続するにあたり懸念される課題等)とその改善策

保育士の不足が本市における待機児童を解消できない大きな要因となっており、その保育士を確保できない要因の1つが、保育 士の処遇に係る問題となっている。

補助メニューの1つである「給与改善費補助金」では、奈良市と比較すると大幅に低く、保育士が奈良市へ流れている状況である。 このことから、「給与改善費補助金」を増額するよう市内私立保育士会からも要望書が出されており、平成31年度予算では一人当た り単価10,400円から13,250円まで増額したが、未だ金額差があるため、状況を見ながら更に増額を検討する必要がある。

#### 5 事業の沿革、変遷等

民間保育所の健全な運営と保育サービスの充実を図るために昭和59年度に創設した「民間保育所等運営費補助金」について は、その後、民間保育所からの要望や国庫・県費での補助金の創設や廃止に伴って、補助対象項目を逓次的に増減させてきた。 (市単独補助金における変更内容としては、「給与改善費補助金」の補助額の変更(H22))等が挙げられる。)

平成31年度予算では、従前から市内私立保育士会から要望書が出ていた「給与改善費補助金」を増額するとともに、市内私立保 育所へのアンケート結果から必要性の低い補助金の廃止及び補助基準額の減額を行った。

- ·給与改善費補助金 10,400円/人→13,250円/人
- ・補助メニュー 10項目→6項目

【事業診断】			
今後の方向性	□ 廃止 ■	改善のうえ継続	□ 現状で継続
【事務事業の改善案】		$\overline{\Box}$	
改善案の区分		具体案	
サービスの範囲・水準の見直し	・保育士不足の要因の一つであるニューを廃止し、給与改善費補助・必要性が低いと思われる補助金後実績による検証が必要である。	金の交付基準を更に上げ	<b>ずる。</b>
実施手法の改善			
受益者負担の改善			
その他の改善			
	■ 令和元年度中	実施目標年度	年度ない理由を記載してください。)
改善案の実施時期	□ 令和2年度中	の一年度よりに天心でき	ない生田を記載してくたさい。)
以音末の天旭时朔	□ 令和3年度以降		
	事業費	□増加	■ 維持 □ 削減
コストの改善方向	人員	□ 増加	□ 維持 □ 削減
【総合所見】			
【事務事業の改善案】にも記載したとは 士不足の要因の1つであると考えられる る必要があると考える。 他方、一部の補助金については固定にが低いと思われる補助金について廃止 様化等、状況の変化に合わせた調整を	給与の低さを改善する必要がある 的で既得権化している実態も伺える 及び補助基準額の減額を行ったが	ため、他の補助金の項目 ることから、民間保育所に 、、保育所によっては混乱	目を削減してでも金額を増加す 対してアンケート調査し必要性 もあり、今後更に保育需要の多

# 平成27年度

補助名	計
民間保育園健全育成事業補助金	1,392,000
行事費補助金	1,965,600
給与改善費補助金	33,758,400
嘱託医報酬補助金	2,334,167
施設運営費補助金	9,662,500
日本スポーツ振興センター加入費補助金	203,630
保育会保育士部会費負担金補助金	315,500
民間保育園備品充実費補助金	3,968,800
修理費補助金	9,517,643
ぎょう虫・検尿・検便補助金	4,062,340
合計	67,180,580

# 平成28年度

1 h = 1 - 5	
補助名	計
民間保育園健全育成事業補助金	1,392,000
行事費補助金	2,031,650
給与改善費補助金	39,790,400
嘱託医報酬補助金	2,950,000
施設運営費補助金	10,029,692
日本スポーツ振興センター加入費補助金	237,520
保育会保育士部会費負担金補助金	328,500
民間保育園備品充実費補助金	4,274,250
修理費補助金	9,544,325
ぎょう虫・検尿・検便補助金	3,883,237
合計	74,461,574

# 平成29年度

補助名	計
民間保育園健全育成事業補助金	1,369,089
行事費補助金	2,034,328
給与改善費補助金	39,842,400
嘱託医報酬補助金	2,960,000
施設運営費補助金	10,405,652
日本スポーツ振興センター加入費補助金	212,075
保育会保育士部会費負担金補助金	346,500
民間保育園備品充実費補助金	4,503,286
修理費補助金	9,239,000
ぎょう虫・検尿・検便補助金	3,947,322
合計	74,859,652

# 平成30年度

補助名	計
民間保育園健全育成事業補助金	1,352,000
行事費補助金	2,132,216
給与改善費補助金	41,849,600
嘱託医報酬補助金	2,950,000
施設運営費補助金	11,194,674
日本スポーツ振興センター加入費補助金	198,060
保育会保育士部会費負担金補助金	331,500
民間保育園備品充実費補助金	4,494,675
修理費補助金	9,837,507
ぎょう虫・検尿・検便補助金	4,144,850
슴計	78,485,082